

緑の雇用担い手育成対策

1 要求理由

雇用対策の強化を通じて経済・社会構造の変革に備えたセーフティ・ネットを構築することを目的として、緊急雇用対策で森林作業に従事した者を本格雇用へと誘導し、その地域への定着を図るため、OJT研修等を活用して森林整備の担い手として必要な専門的スキル・技術を習得させることを通じ、基幹的な林業就業者として地域への定着促進を図る。

2 事業内容

全国森林組合連合会（全国林業労働力確保支援センター）は、森林整備に係る雇用対策・担い手対策に意欲的に取り組んでいる地域において、緊急雇用対策による森林作業従事者を対象として、本格的に森林の整備等を担うことができる能力を付与するためのOJT研修（植栽、刈り払い、抜き伐り作業等）及び専門的な知識、技能等の研修について、森林組合等の林業事業体に委託により実施する。

また、本事業の周知による事業の円滑化を目的として、全国規模での就業情報の提供を実施する。

なお、本事業に必要な資金については全国森林組合連合会に造成する。

対象者

都会等他地域からのU・Iターン者を優先しつつ、緊急雇用対策により新たに森林作業に従事した者で、かつ、森林整備の担い手として地域に定着して本格就業する意志を有する者。

3 交付(造成)先 全国森林組合連合会

4 補助率 定額

5 補正要望額 9,500百万円

(林野庁経営課)

緑の雇用担い手育成対策等のフロー

林業就業希望者（UIターン者等）

新規就業促進・相談対策事業

（平成13年度林野庁補正予算）

就業相談会の開催
就業前研修の実施

緊急地域雇用創出特別交付金事業

（平成13・14年度厚生労働省補正予算）

森林作業員として森林組合等に短期雇用（原則6ヶ月間）

緑の雇用担い手育成対策

（平成14年度林野庁補正予算）

担い手育成のための森林組合等でのOJT研修
（約1年間）
森林整備の実施

森林組合等への本格就業

効 果

- ・ 優秀な林業労働者の育成・確保
- ・ 森林整備の着実な推進（CO₂吸収量の算入にも寄与）
- ・ 都会から地方への新しい人の流れによる山村地域の活性化

平成14年度林野庁関係補正予算について

参 考

平成14年12月
林 野 庁

総 額 1,360 億円

1. 経済・社会構造の変革に備えたセーフティネットの構築 119 億円

- (1) 緑の雇用担い手育成対策 【95 億円】
- ・ 緊急雇用対策による新たな森林作業従事者を基幹的林業就業者として定着させるための実地研修等を実施
- (2) 木材産業等に対する融資の円滑化 【18 億円】
- ・ 経営革新に取り組む木材産業等に対し、農林漁業信用基金の債務保証の活用による資金供給の円滑化
- (3) 木材産業の構造改革の推進、経営革新の支援 【6 億円】
- ・ 木材産業の構造改革を推進するため、大型木材乾燥設備等の導入の促進、産学官の連携による新技術等の実用化の推進

2. 構造改革推進型の公共投資の促進 952 億円

- (1) 多様で健全な森林の育成 【886 億円】
- ・ 早急に手入れの必要な森林や土砂流出等のおそれがある森林において、植栽や間伐等を実施するとともに、奥地水源林を整備
- (2) 木材・木質バイオマスの利活用の推進等 【66 億円】
- ・ 地域材を活用したモデル的な公共施設、木質バイオマス利活用施設、林業生産基盤施設等の整備

3. 災害復旧等 289 億円

- ・ 台風、豪雨等の被害に対応し、林野関係の災害復旧事業等を早期に実施。